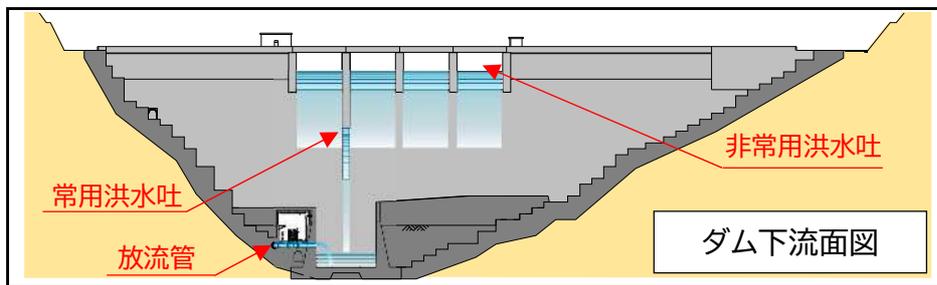


➤ 吉野瀬川ダムこうずいばきの放流設備

当ダムの放流設備は、上から順に「非常用洪水吐」、「常用洪水吐」、「放流管」の3つがあります。非常用洪水吐と常用洪水吐にはゲートがなく、ダムに開いた“穴”から自然に放流する方式を採用しています。放流管は、バルブの開閉によって放流量を調整することができます。



➤ ダムによる洪水調節

当ダムは、大雨時に下流域の浸水被害を軽減するため、常用洪水吐にて放流量を絞り、洪水の多くを貯めることで、下流河川の流量を減らす洪水調節を行います(図②)。また、天候回復後、次の洪水に備える放流を行います(図③)。

なお、異常な豪雨により貯水できる限界を超えると、非常用洪水吐からも洪水が流れ、流入量と同じ量を放流します(図④)。

洪水時は、下流河川の水位が急激に高くなることがあります。下流域の方は、ダム・河川の水位情報や自治体の避難情報を確認し、適切な避難行動をとってください。(水位情報は、福井県河川・砂防総合情報にて公開しています)

かわら版

福井県吉野瀬川ダム建設事務所

令和6年11月15日
第15号

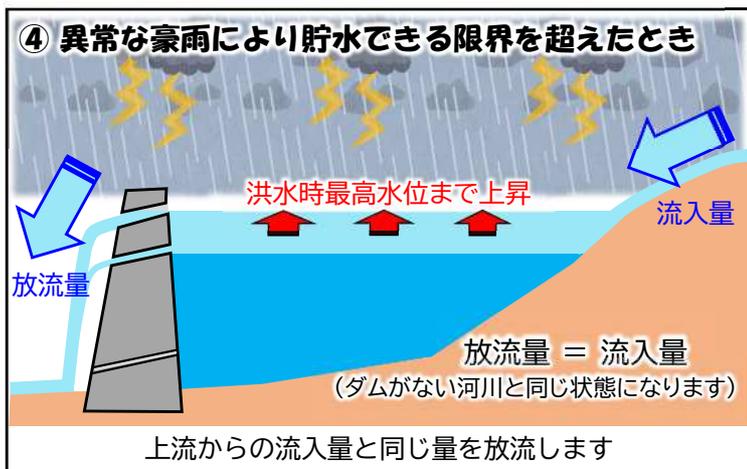
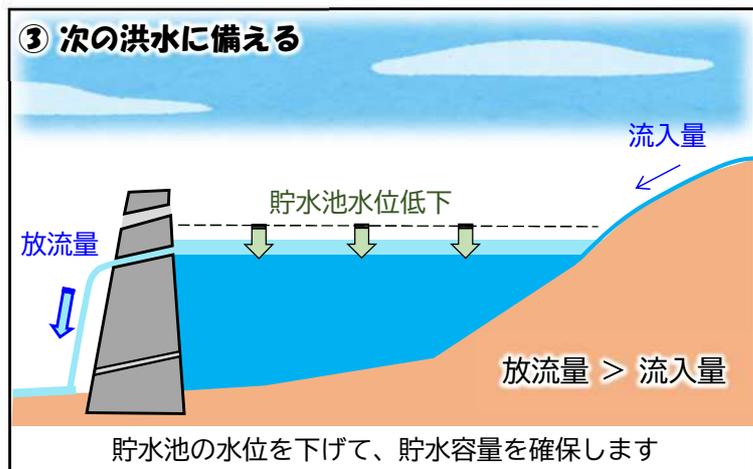
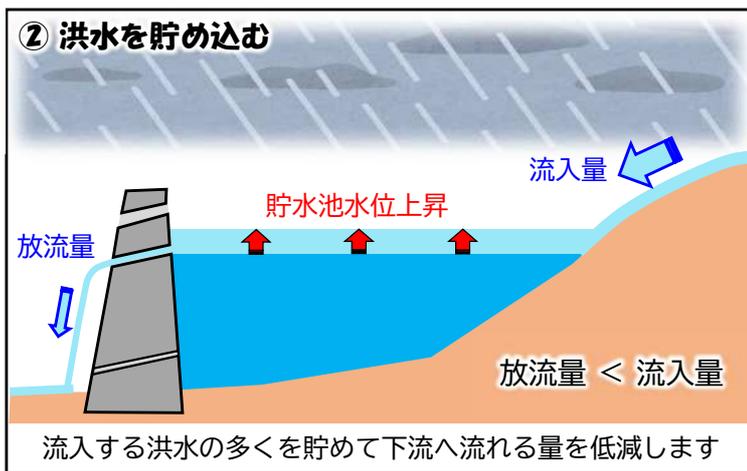
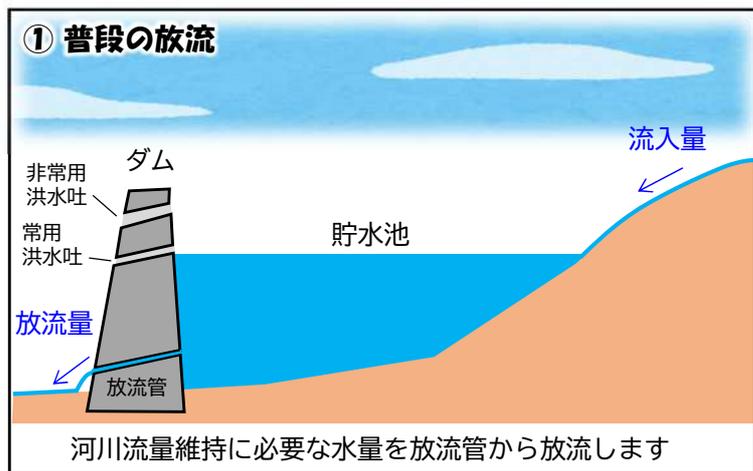
発行者

吉野瀬川ダム建設事務所
〒915-0872

越前市広瀬町113-5
☎(0778)21-0020

【お問い合わせは上記へ】

福井県河川・砂防総合情報
QRコード



📷 工事の状況について (ダム本体工事)

令和6年10月



10月末現在でコンクリートを約104,000m³打設し(計画打設量の約75%)、常用洪水吐の高さまで進捗しました。また、ダム監視所の建築基礎や放流管の据付などダム管理用設備工事も進めています。



ダム本体工事JVだより

◆新任職員紹介

安藤ハザマJVの宇田朋史(うだともふみ)と申します。

これまで安藤ハザマ名古屋支店の管理部門で当作業所を担当しておりましたが、10月より吉野瀬川ダム作業所専従の事務係として着任いたしました。社内でも特殊な現場であるダム建設という、地域の治水対策に重要な役割を果たす事業に携われることを光栄に思います。

食べることが大好きな私は、すでに多くの福井グルメを堪能しました。まもなく30歳を迎える身体を労わりつつ、今後も美味しいものをたくさん味わって英気を養い、日々の業務に精進します。

今後ともよろしくお願ひいたします。



これまでに堪能した
おろしそば、ボルガライス

文・写真:安藤ハザマ・建世・清水組・谷口建設JV



福井県吉野瀬川ダム建設事務所ホームページ

ホームページQRコード

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/yosidam/>

【かわら版のバックナンバーは、事務所ホームページで公開します】

事業の詳しい情報は、YouTubeやX(旧Twitter)でも発信しています。

チェックしてみてください!

吉野瀬川ダム YouTube

検索

吉野瀬川ダム Twitter

検索

